

第6回 議会運営委員会記録

1 日 時 令和3年6月22日(火) 午前9時31分 開会

2 場 所 議会委員会室

3 出席委員 8名

委 員 長 佐藤 栄一

委 員 霜鳥 榮之

副 委 員 長 高田 保則

〃 天野 京子

委 員 渡部 道宏

〃 阿部 幸夫

〃 八木 清美

〃 小嶋 正彰

4 欠席委員 0名

5 欠 員 0名

6 職務出席者 2名

議 長 関根 正明

副 議 長 堀川 義徳

7 説明員 0名

8 事務局員 3名

局 長 築田 和志

主 査 貫和 志行

庶務係長 霜鳥 一貴

9 件 名

(1)追加議案の提出に伴う議会運営について

1)追加議案について

2)追加議案の審議日程及び審議方法について

(2)その他

○委員長(佐藤栄一) おはようございます。ただいまから議会運営委員会を開会いたします。関根議長。

○議長(関根正明) おはようございます。事前にメールにて、お知らせしたとおり、本日は執行部より提出されました追加議案1件の審議方法の審議をいただきたいものです。なお、委員外議員の傍聴を求め、全員協議会を開催したとみなし、通常開催される議運後の全協は省略させていただきますので、御承知おきください。以上です。

(1)追加議案の提出に伴う議会運営について

○委員長(佐藤栄一) では(1)追加議案の提出に伴う議会運営について、一括説明願います。局長。

○局長(築田和志) はい。それでは、1)の追加議案につきましては、御手元の3ページの追加付議案件を御参照いただきたいと思います。議案第42号の1件が追加議案として提出されました。議案第42号の令和3年度新潟県妙高市一般会計補正予算(第5号)につきましては、内容としては2件ございます。一つ目は、福祉介護課所管となりまして、国が新たに新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業を創設し、生活困窮世帯に対する支援策を7月から実施することから、その費用を補正するもので、金額は60万円となっております。二つ目です。道の駅あらいの農業振興施設「四季彩館みょうこう」の一部改修工事で、レストランエリアの利用者拡大と安全確

保を図るため、レストランエリア西側に出入口を新設することについて、交付金を所管する北陸農政局との協議が調ったことから、その整備にかかる費用を補正するもので、金額は900万円とし、あわせて、補正額は960万円となる予定です。次に、2) 追加議案の審議日程及び審議方法についてですが、まず、日程につきましては、4ページ下段をごらんください。本日最終日の議事日程第4号の日程第10で御審議いただきます。1ページに申し訳ございません。お戻りいただき中央の口枠を御確認ください。記載のとおりですが、議案審議を原則として所管委員会に関係議案を審査付託するのが例であるとしておりますが、定例会において委員会付託を省略し直ちに採決すべき、即決ですね、議案の区分につきましては、議会運営委員会において決定することが例であるとしております。審議方法ですが、ア)の審議方法案1につきましては、委員会へ付託する案です。議案第42号の案件は2件ございますので、流れといたしましては、市長提案の後、所管課長の補足説明を行い、総括質疑、これにつきましては質疑制限があります。案件ごとに繰り返して、順番としては建設厚生委員会、それから産業経済委員会へそれぞれ付託という形になります。委員会終了後に、委員長報告、質疑、討論、起立採決となります。次に、1ページ下段から2ページをごらんいただきたいと思います。建設厚生委員会を開催し、委員長報告の調整を行い、次に産業経済委員会を開催し、委員長報告の調整を行います。そのあと本会議を再開いたします。その流れは、委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、起立採決となります。なお、その際には、インターネット中継のパソコン等の移動が、議場から委員会質、委員会室から議場へということが必要となりますので、御確認いただきたいと思います。2ページ上段から中段にかけて、口枠で大まかな時間割を記載していますが、あくまでも目安ということであります。時間を制限するものではございません。次に、2ページ中段のイ) 審議方法案2でございます。こちらは委員会付託なしの即決のパターンです。この場合は、所管制限なし、質疑回数の制限なしということで、御審議いただき、質疑、討論後に起立採決となります。以上でございます。

○委員長（佐藤栄一） はい。ただいま説明がありましたが、本日最終日における追加議案の審議日程及び審議方法について、何かございますか。小嶋委員。

○小嶋委員（小嶋正彰） はい。建設厚生在所管の部分については去年も同じような形でありましたので、これはしなきゃいけないというふうに思うんですが、農業振興施設の関係についてなんですが、今、ここで1年たったか、たたないところで、これだけの改造しなきゃいけないという部分。だからちょっと今ここで急いでやる理由ってのは何なのかなということ。農政局との協議ということですけども、見ますと、農政局がお金出してくれるわけじゃなくて全部市の、全部じゃないけど、市の借金みたいな形になっています。そこら辺のところ急ぐ必要があったのかなとそこら辺のところの説明をよく聞かしていただかないとどういうふうに審議したらいいのか。基本は産業経済委員会に付託してやるというのは原則ですので、毎回こういった急に出てきたやつについては、即決というような流れありますけれども、これもひとつ考えないといけないのかなというふうに思うんですけど、その辺いかがでしょうか。

○委員長（佐藤栄一） ほかの委員の皆さん。阿部委員。

○阿部委員（阿部幸夫） はい。私もですね。前回もこういうような、建設、それから二つの委員会にまたがってですね、いろいろ議論されるわけですけど、なぜこんなような形で出てくるのかですね、余りにも何か議会に対してどう思っておられるのかなあと。何でもこう出しとけばできるというような質問をタイミングになっているような気がしてですね。言葉はちょっときついような形になりますけど、議会を余りにも軽視したような形にとられるんじゃないかなというふうな感じがとれます。同時にこういうのは市民から見ても、いろいろ課題がいっぱいあったわけでありまして、委員会でも十分やっぱり議論した上で、納得して、そして市民にこういうことだというふうに報告をしていくと、そして納得してもらおうと、こういうようなことが大事なんではないかというふうに思います。

ので、そこら辺がもう少しすっきりしない状態ではないかというように思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。いずれにしても議論を十分にしていかなくちやいけないということだというふうに思ひますので。

○委員長（佐藤栄一） 委員会に付託するのか、全体でやるのか。

○阿部委員（阿部幸夫） 今後はですね、そういう今までのことがありますから聞いた話でありますけど、委員会に付託をし、今後はそういうことのないような形でお願ひしたいというふうに思ひます。

○委員長（佐藤栄一） ほかの委員で、渡部委員。

○渡部委員（渡部道宏） 私は本来なら委員会付託が原則でございますし、していただければいいんですが、ただ、今回この件については余りにも拙速だし、何かおかしいことが多々あるだろうと。ほかの議員の皆さんも心に秘めているものたっぷりあると思うんですね。これは産経委員だけで議論するよりも、全体でもう制限なくして、どんどん意見を言って当局に理由を聞き、そして、即決という形になるんですけども、最終的には委員会で決議として否決されたとしても全体で可決なら可決になってしまうわけですし、皆様一人一人の意見を、今回のこの補正には生かさせていただきたいと思うので、即決で、質問制限なし、皆さんからの意見を吸い上げるという形をとられたほうがいいと思っております。

○霜鳥委員（霜鳥榮之） はい。それぞれ思い思いに発言して大いに結構な話だなと思っております。最初から言われるように、あまりにも急な話で、唐突な話で。通告っていうかね、提案されたその日程からして見ていくと、突然ですがだよね。こういう形でもって議会に対応してくっていうのはね議会軽視になるんですよ。こういう話をもっと前もってちゃんと段取り出来なかったのか。さっき小嶋委員も言われたけどね。1年そこそこでなによと。最初からいうと設計のミスなんかかっていう話も出てくるわけです。急などたばた劇でもって施設を開設したという形の中でもって、そこんところの設計が追いつかなかったのかっていうこういう話も出てきたりね。1番問題となるのは、突然ですが出てきたことなんですよ。今日説明でしょう。今日即決でしょ。十分な議論っていうのはどこでやるのっていう話になるんでね。だから、本当にみんなが真剣にこれ議論してから決めましょうということになれば、即決じゃなくて、委員会付託をしてね、やったっていいわけですよ。そこんところをどっち取るかっていう話になるんで。私自身も、これについては腑に落ちないっていうのがあります。1番腑に落ちないっていうのは、議会軽視の問題。だからこういうのをそのまま通しておいて果たしていいのかっていうのを、我々はみんなで真剣に考える必要があるかな。金額とかなんとかっていう問題じゃなくてやり方の問題。当然事業の中身の問題もいろいろありますけども、今はその中身の問題じゃなくて、議会運営の立場の中でもって、そういう意見を述べておきたいと思ひます。

○委員長（佐藤栄一） ということは、どちらとも。霜鳥委員。

○霜鳥委員（霜鳥榮之） はい。どちらにするかっていうのはね、先ほど言いましたように、本当に皆さん審議するんだったらそっちへ、委員会付託して。ただ、時間がないから、即決でやりましょうっていうことなら即決でも。これはどちらっていうのは、私は、私個人としては、ここへきていてどうなんだってあるけれども、あるけれども、もう、即決やむを得ないのか。ただ、いつもの話でもってやむを得ないっていう形で通しているのは、やっぱりうまくないっていうふうに思ひます。したがって、みんなでもってどっちにしようかっていう、本当に意見を酌み尽くして決めるべきだなというふうに思ひます。

○委員長（佐藤栄一） はい。ほかの委員の皆さんは。全員発言してください。天野委員。

○天野委員（天野京子） はい。正直、どっちとも言えないっていう厳しい、ちょっと感想なんですけど。委員会をやれば出つくしますかね、いろんな質問が出たり細々と、1番大事なものは、やっぱりどうしても必要な理由が私たちがわからない。新設してまで、900万円かけてまで、どうしても必要だとそれがコロナ対策なのか、それとももつ

と営業がこれで進むということなのか、人の出入りが二つに分かれることで利便性がよくなるということなのか、その説明を聞かないまでは何とも私も言えないんですが、でも出つくすっていうことを考えたら、委員会付託が私は適当かなと思っております。以上です。

○八木委員（八木清美） はい。私も迷っているんですけども、まずどうしてこういう時期なのかなということで、市民からそういう声があったのかアンケート結果等で、そういうような声があったのか、そういうところを考えていました。また使い勝手が悪いとか、これによって、利益がまた増すのかというような。そういう計算のもとに、こういう案は出されたのか、ちょっと私のところ、私はわからないところですけども、委員会へ付託をしてですね、よくまた、産経のほうで審議していただいて、決めてはどうかと考えています。

○高田委員（高田保則） 非常に難しい問題ですけども今回、急な提案だということと、さきほどお話ありましたけども、何で1年ぐらいで追加工事をしなくちゃいけないかっていうその理由がちょっとわからないっていうのも。しかも50万円、60万円ではほんの修理程度でいいですけども、900万円、それでしかも、自己資金でやるということですのでね、その辺の必要性がどうかっていうことはやっぱり我々も知っておく必要があると思いますし、北陸農政局との経過っていうのは、どういう経過あったのか、当然今まではそれは私らの耳には全然入ってないわけですよ。当初からこういうことで今折衝中なんだっていうふうになれば、その経過はある程度分かるんですけども、説明では、整ったっていうだけで、いつからやっていたのかってこともわからないし、その辺もですね、提案説明だけではなかなか難しいんで、委員会の中で、十分、その辺の真意を正して、審査をしたらいいかなというふうに思います。以上です。

○委員長（佐藤栄一） 委員会付託の意見のほうが多いように感じますが、できるだけ全会一致で話を決めていきたいと思っていますので、もう一度まだ皆さんのほうで発言。霜鳥委員。

○霜鳥委員（霜鳥榮之） はい。皆さんの気持ちが、気持ちはですね、委員会付託でもって十分審議したほうがいいよっていうほうが、多いいうふうに思います。ただここでもって全会一致をとっていったときに果たしてどうなのかっていうものなんですけども、ちょっと一つ提案なんですけどもね。今後のことも踏まえて、こういう緊急な追加議案、なんて言いますかね、緊急な必要性があるのかどうなのかっていう、この辺のところを、具体的に、それが分かるわからん形の形の中でもって、ここでもって注文をつけておくと。したがって、何日前までにちゃんと提案しないものは受け付けできないと。緊急性の度合いの関係でっていう、このくらいの注文をつけて、今日は取りあえず何ていうかな、全体でもって一括でもってやってしまうみたいな、方法もどうなんだろうかということ提案なんですけどもいかがでしょうか。

○委員長（佐藤栄一） 議案の提案は、執行部側にあるわけでございまして、できるだけ議会に対して事前の説明をしてほしいという要望はできると思うんですが。あとは。小嶋委員。

○小嶋委員（小嶋正彰） はい。基本的にはそういう流れかなと思ってます。ここに書いてある理由はですね、どう読んでも急ぐ理由は北陸農政局との協議が整ったからと、それしか見えないですよ。この案件で、交付金の農政局の協議って一体何なのかなっていう気がするんです。もうつくっちゃっているわけですよ。それでお金もらうわけでもないし、そこら辺の理由が一つわからない。それから、利用者拡大と安全確保ってことでですけども、じゃ一体それをやることによって、どのぐらいの利用者、現在どのぐらいの利用者で、それがどのぐらい拡大を見込んでいるのか。それから安全安心、安全確保ですけども、誰に対して何を安全対策をして、効果はどうか、そういうようなのを、これ急ぐんであればなおさらきちっとした資料を提出していただいて、委員会で提出されるのかどうかちょっとわかりませんが、やはり、対応、これ平面図1枚だけで理解せいでいうのは非常に無理があるなというふうに思います。

○渡部委員（渡部道宏） 私は即決のほうで先ほど来から発言させていただいていますが、今の小嶋委員でもこれだけの意見を持ちなわけですね。これが委員会付託されたときに、我々6人の委員、議長をぬいて5人ですけれども、そんなに深まるとは今日の今日で深まると思えないですね。であれば、いろんな角度から多角度からいろんな皆さんから意見をいただいて、深めていくというのが、何かいいんじゃないかなって気がしてしょうがないんですわ。今、小嶋委員から言われたのも、ああそうだよねってのふっと思いつくところもございまして、なるだけ多くの方々からいろんな意見をいただいたほうが、産経だけの5人だけで本当にこの案件いいのかなって気がして、思っておる次第でございます。以上です。

○高田委員（高田保則） そういう意見も確かにあります。6人よりも18人の方がいい可能性。そういうこともありますけれどもただ、本市議会は、委員会重視しということで、あくまでも委員会で審議をして本会議で採決することですから、やはり委員会、基本的には委員会を重視すべきだと。そこで大変なものについては本会議、3回という制限はありますけれど、そういうものでやるべきだなというふうに思います。そうしないと、こういう場合は全て即決即決で委員会は全然開かないっていうのは、私は議会運営委員会の中ではちょっと問題かなと思いますし、何のために委員会あるのかなということも疑問に思うわけですので、ぜひやはり今回はそういう問題があれば、委員会の中で委員の皆さん、十分、しんしゃくした中で、協議をして、結論を出していただきたいというふうに思います。

○渡部委員（渡部道宏） 高田委員のおっしゃることももっともですし、誠にそのとおりだと思います。ただこれ議案が示されてから、各委員が調べる時間もないし、資料提供していただく時間もない中で、上のコロナのほうとセットものになっているわけですね。セットもののやつがもう7月からもうやらなきゃいけないという切迫してると、言うなれば、にこいちにされて脅迫されているようなもんですよね。なので、その上のものを通すためには即決が必要である。下の部分については、即決じゃなくても十分対応できるということになってしまうと。であれば、霜鳥委員から言われたように、今後そのやり方について、議運でもうちょっと練っていくのを前提とした上で、今回はほかの委員から意見をいただいて、もうちょっとこうしたほうがいいんじゃないかと、がんと当局を責めると言っちゃいけないでしょうけども、意見をぶつけてあげたほうがいいのかなって気がするんですね。でも高田委員のおっしゃることは間違いないと思うんですけども、ただ私は今回はこれはそっちのほうがいいのかなと思っております。

○委員長（佐藤栄一） はい。暫時休憩します。

休憩 午前 9時53分

再開 午前10時03分

○委員長（佐藤栄一） 会議を続けます。ただいま提案されております議案第42号の追加議案については、本日、即決という形でよろしいでしょうか。

〔「はい」という者あり〕

○委員長（佐藤栄一） はい。御異議なしと認めこのように決定します。つきましては、質疑回数制限と所管制限はありませんので、お願いをします。

（2）その他

○委員長（佐藤栄一） 次に、（2）その他について説明願います。局長。

○局長（築田和志） はい。その他なんですけども、1件報告いたします。5ページ上段。日程第12、発議1号から3号について採決させていただきますが、可決いただければ同時に政務活動費の交付に関する規則の一部改正ということで、1番裏面なんですけども6ページの表がありますが、この表中下段の人件費と事務所費の段を削除させて

いただくこととなりますので、御承知おきいただきたいものです。以上です。

○委員長（佐藤栄一） はい。それではそのように御承知おき願います。その他ございませんか。

○霜鳥委員（霜鳥榮之） 一言だけ提案させてください。佐藤議員の永年表彰の関係なんですけど、日程調整は全然当たらない、先っていうふうに言っていますけれども、後でもって具体的に決めるにしても、大まかな時期を設定しておったほうがいいんじゃないのかなというふうに思っております。一つのきっかけとしては、コロナワクチンの接種が終わって2週間後以降っていうような形のものか、あるいはもっと送っちゃって9月議会終わってからっていうあたりにするか、大まかなところを設定しておいたほうがいいんじゃないかなと。本人の気持ちの問題もありますね。本人はなかなかそういう自分の口から言えませんので、その辺だけちょっと提案しておきたいと思えます。

○委員長（佐藤栄一） はい。私事なんで私から発言しづらいんですが、小嶋委員。

○小嶋委員（小嶋正彰） 非常に心配なのはよくわかります。やっぱりワクチンの接種はね、やっぱり9月いっぱいにかかるというような、今日私委員長報告でもありますけれども、それを終わらせて晴れて、清い体になって、それから祝賀するというようなことで、もうちょっと先送りしたらいかがでしょうか。

○阿部委員（阿部幸夫） まだこう妙高市の状況見てみますと、若い方々が、まだ議員の中でも終わってない方もいるわけですので、私もやっぱり、少し9月ごろになってからでいいんじゃないかなと、全員終わってからやるということでもいいんじゃないかな。ここまで来たんですからもうね、あとわずかだと思いますので、そんなふうに思います。

○委員長（佐藤栄一） では、9月頃をめどにすることでよろしいでしょうか。

〔「はい」という者あり〕

○委員長（佐藤栄一） 申し訳ございませんが、はい。そのようにお願いします。

○委員長（佐藤栄一） 以上で議会運営委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時06分

議会運営委員会委員長	
------------	--